

# 知らないと危ない目に遭う FX5つのリスク

(再配布可能)

**BEST FX**  
<http://www.fx-research.com>

# はじめに

BEST FX

<http://www.fx-research.com/>

を運営しております。佐竹と申します。

この度は本レポートのご請求、誠にありがとうございました。

最後までどうぞよろしくお願い致します。

- 「BEST FX」公式HP <http://www.fx-research.com/>
- 公式メールマガジン [http://www.fx-research.com/2007/08/post\\_82.html](http://www.fx-research.com/2007/08/post_82.html)
- お問い合わせ [info@fx-research.com](mailto:info@fx-research.com)

## 再配布・著作権・免責事項

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

下記の点にご注意戴きご利用下さい。

- ・ このレポートの著作権はBEST FXに属します。
- ・ ブログやメルマガなどの媒体をお持ちの方は、改変を行わない限り、再配布可能とさせていただきます。
- ・ 著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても、複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・ このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・ このレポートは著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・ 著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・ このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。
- ・ 著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・ このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・ このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

# 知らないと危ない目に遭うFX5つのリスク

皆さんはFXについてどんなイメージをお持ちですか？

小額の保証金でスタートできて、  
手軽そうなイメージを持っている方も多いでしょう。

FXの歴史自体が浅いので、  
初めての方でも新規参入しやすいようなイメージもあるでしょうか？

しかし、よく考えてみましょう。

自己資金の何百倍の金額に相当する外貨を売買できるということは、  
それだけハイリスクになりやすいということ。

FXの歴史が浅い分、FXを規制するルールがゆるい。

初めてFXをされる方であれば、  
FX業者の名前だって歴史が浅く、はじめて聞くような所ばかりで  
どこを選べばいいのかわからないかも知れませんね。

実際2005年までは、  
FXを規制する明確なルールが無かったので、  
悪徳業者が横行していた時代でした。

投資家に対してリスクの説明が不十分であったために、  
知らず知らずのうちに大きなリスクを背負わされ、  
破綻するケースもありました。

FX業者が投資家から預かったお金を分別管理していなかったせいで、  
業者が破たん後、証拠金が返還されなかったこともあります。

そこで、2005年、改正金融先物取引法が施行され、  
極めて財務体質の悪い業者は市場から排除されることになったのです。

しかし、最近サブプライムローン問題が起こったときにも、リスク管理の甘さが見えていましたね。

激しい為替レートの変動で、大きな損をする投資家や経営破たん追い込まれるFX業者が現れたのです。

まだまだ危うさの残るFX。  
リスクと回避方法についてしっかりとした知識を持ち、自分の身は自分で守りましょう。

それでは、FXにありがちな5つのリスクと、回避方法をお話します。

## 1. 為替変動によるリスク

外貨を扱うすべての金融商品にあり得るリスクです。

外国為替レートの変動で、為替差益を得る可能性もありますが、損益になる可能性もあります。

ただし、FXの場合は他の金融商品と違い、証拠金取引ですので、利益が出れば大きく儲けられる代わりに損益も大きくなってしまいます。

例えば、  
1ドル=120円のときに10万円を証拠金（保証金）として、1万通貨（120万円分）を買い入れたとしましょう。

米ドルが1ドル=119円に下がってしまったら、

【購入時価格】  $120円 \times 10,000 = 1,200,000円$

【現時点価格】  $119円 \times 10,000 = 1,190,000円$

となり、1万円の含み損が出ていることとなりますね。

ドルが、たった1円下がっただけで、1万円分損をしたことになり、証拠金は9万円に減ってしまいます。

一円の上げ下げで、  
もとの証拠金に対して10%もの損失となったり、  
10%もの利益となったりします。

このようにFXでは、  
小さな投資額で大きな利益も得られるかわりに、  
負けたときの損失も大きくなってしまいうわけです。

先程は、証拠金10万円で120万円分の外貨を運用する例でしたので、  
レバレッジは12倍でした。

今度は、レバレッジの割合を変えてみましょう。

1ドル=120円の時に、10万円の証拠金をもとに、  
5000通貨（60万円分）を買い入れたとしましょう。

米ドルが1ドル=119円に下がってしまったら、

【購入時価格】  $120円 \times 5,000 = 600,000円$

【現時点価格】  $119円 \times 5,000 = 595,000円$

差し引き5千円、すなわち5%の損失ですみます。

このように同じ証拠金でも、  
レバレッジの割合を低くすると損失も小さく押さえられます。

その代わりに利益も少なくなりますね。

あらかじめ自分に合ったリスクを自分の中で決めておきましょう。  
(このくらいまでなら損を出してもかまわないという金額)

ちょっと慣れた頃に高いレバレッジに手を出すのはギャンブルと同じです。  
予想外の多大なリスクを自分で背負うようなことはやめましょう。

## 2. 金利変動によるリスク

FXをやるなら、魅力的なのがスワップ金利。  
世界的に見ても超低金利な今の日本の金利。

あなたが日本の銀行に貯金をしていても、  
金利はほとんど付きませんよね。

ところが、低金利通貨で高金利通貨を買くと、  
スワップ金利による利益を得ることができます。

金利の高い国の通貨を買くと、  
高い金利が貰えるのは外貨預金と似ていますが、

外国為替証拠金取引は、通貨を「売る」ことができるので、  
金利が変動すると損失を負う場合があります。

今は、日本の金利が極端に低いので、  
どの国の通貨を買ってもスワップ金利で儲けることができます。

しかし、この金利差は永遠に続くわけではないことも念頭に置きましょう。

日本の低金利がいつまで続くかわかりませんが、  
金利逆転となった場合には逆に損益を出すこととなります。

金利変動の要因として挙げられるのが、  
政治・経済、金融情勢の変化、政府の規制、  
および外国為替市場の規制による取引制限などです。

日本円の金利が変わらなくても、  
ペア通貨の金利が下がった場合には、

スワップポイントも下がり、  
金利が逆転した場合には損失となります。

### 3. レバレッジの調整

レバレッジの調整を誤ると、  
手痛い損失を受けることとなります。

安易に高い割合のレバレッジに手を出すと、  
あっという間に証拠金がなくなってしまう。

FXにリスクはつきものですが、レバレッジを調整して、  
リスクとリターンをある程度調整できるのがFXの良いところです。

ですから、この金額までなら損してもかまわない、  
という金額を自分の中で決めておくことは大切です。

#### マージンコール

もし、あなたが20万円の資金で米ドルを1万通貨買っていた場合、  
20円もさげてしまったら、  
資金がなくなりFX会社の方で強制決済されてしまいます。

高レバレッジにすればするほど、  
ちょっとした為替の変動で証拠金不足が生じる場合があり、  
強制的に終了してしまうことがあります。

このシステムをマージンコールと言います。簡単に言えば、  
損失によって証拠金が少なくなってくると決済が行われる訳です。

実際にマージンコールになってから決済されるまでには、  
丸一日程度の猶予期間があります。

その間に業者からメールで通知があり、  
証拠金を追加するかポジション（購入している通貨額）を減らすか、  
のどちらかの選択をすることとなります。

マージンコールに関するルールはFX業者によって違います。  
FX業者の中には、細かい設定を自分で決められる会社もあるようです。

自分の投資戦略にあった比率のFX業者を選ぶと良いでしょう。

ロスカット

高いレバレッジで取引を行っているとき、  
相場の変動で大きな損失が出ることはお話ししました。

相場の急激な変動から顧客を守る意味で作られたシステムが自動ロスカットです。

このロスカットには、  
自分の資金損失を小さく押さえてくれる、  
と言う良い点もあるのですが、難点もあります。

たとえば、この先上がりそうだと予想した通貨が、  
いったん下げて、また上昇したとき。

この下がった段階で、  
証拠金の損失が一定割合を超えていると決済されてしまうのです。

その後稼ぐチャンスがあるのに、ロスカットされ、  
しかも下げた通貨以外のポジションまで決済されてしまうのですから、  
悔しい思いをすることになりかねません。

そうならないためにも、  
簡単にロスカットされないようなレバレッジの割合で取引を行うことが重要です。

初心者であれば、3倍程度に抑えておいたほうが無難でしょう。

## 4. オンライン取引によるリスク

FXのみならず、オンラインでおこなう金融取引にあり得るリスクです。

売買中、インターネット障害、通信機器の故障、  
通信障害などで取引が正常に行えなくなるリスクです。

また、初歩的なミスとして（あるいは慣れた頃にうっかりして）数値を間違えて注文を入力してしまうことが考えられます。

ゼロひとつが大変なことになりますから、気をつけましょうとしか言いようがありません。

電子認証に用いられるユーザーネームやパスワード等の情報が、漏洩した場合、その情報から損失が発生する可能性もないとはいえません。

システムトラブル時の対処法、セキュリティ、データ管理などの対処法は、FX取引業者によって様々です。

これらが信頼できることが、取引業者自体の信頼性にも通じるのではないかと思いますので、取引前にしっかり確認しておく必要があります。

さらに、オンラインでの取引がメインであっても、不測の事態に備えて電話や携帯（モバイル）での取引の方法もきちんと知っておくと安心です。

## 5. 信用リスク

FXをはじめようと思ったら、FX業者にあなたの証拠金を預けなければなりません。

ですから、その業者があなたの資金の管理をちゃんと行えるのかを見極めなければなりません。

実際、改正金融先物取引法が整備されるまでは、投資家と業者の間でトラブルが多くありました。

そしてそのトラブルの大半を占めていたのが、証拠金に関するトラブルであったようです。

では今はそんなトラブルはないのかというと、  
そう安心してもらえません。

その業者がきちんと信託保全されていない場合、  
(お客が会社に預けたお金は、FX業者のお金と分別されていること)  
その会社が倒産したときあなたの証拠金が帰ってくる保証はないのです。

改正金融先物取引法では、  
投資家保護を目的としたルールが厳しく定められています。

FX業者の財務の健全性も強く求められています。

金融先物取引業者の登録を完了している取引会社であれば、  
これらの基準を満たしているといえます。

HPや業者の資料の中にこの登録番号等が掲載してあるか確認しましょう。

そのような会社であれば、  
皆さんの大切な資金を預ける基準を満たしていると言えるでしょう。

以上が5つのリスクになります。

大切なお金を扱うわけですから、  
冷静でいられないときもあると思いますが、  
そんなときこそ判断を誤りやすいもの。

始める前に自分のルールを決めて、良い結果を出されますように、  
陰ながら応援しております。

# 最後に

最後までお読み頂き誠にありがとうございました。

当サイトではマニュアルやシステムトレード、シグナル配信などの、モニターとなって頂ける方も随時募集を募っております。

また、最新のFX口コミ情報や無料情報も提供しておりますので、ご興味ある方はこちらからご登録くださいませ。

■ 公式メールマガジン [http://www.fx-research.com/2007/08/post\\_82.html](http://www.fx-research.com/2007/08/post_82.html)

お時間ございますときにサイトにも遊びに来て頂けると幸いです。  
それではありがとうございました。

- 発行者 BEST FX メルマガ事務局 佐竹 真由美
- BEST FX <http://www.fx-research.com/>
- 公式メールマガジン [http://www.fx-research.com/2007/08/post\\_82.html](http://www.fx-research.com/2007/08/post_82.html)
- お問い合わせ [info@fx-research.com](mailto:info@fx-research.com)